

2022年12月26日
東北大学産学連携機構

「リアルツアー-in 東北大学」開催報告

2022年12月16日、リアルツアー-in 東北大学と題した産学連携イベントを開催しました。企業の皆様に東北大学のシーズ3件を紹介し、それぞれのシーズに関する連携・事業化に向けたディスカッションを行いました。

当日朝、青葉山キャンパスの会議室にて主催の一般社団法人事業開発経営協会の多喜理事より開会挨拶、関根様より趣旨説明がありました。その後、参加者による自己紹介、続いて青葉山キャンパスのシーズ提供者である大田准教授（工学研究科）からの研究シーズ「亜臨界溶媒分離法による抽出技術の活用」の紹介、阿部助教（学際科学フロンティア研究所）による研究シーズ「木製炭素電池の技術を用いた自然素材の電源化」の紹介が行われました。



写真1（左）：大田准教授、写真2（右）：大田准教授によるシーズ紹介

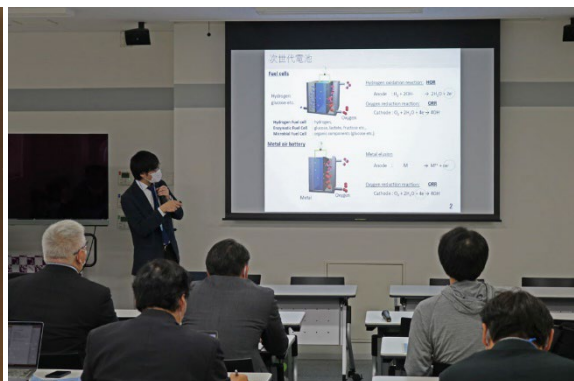


写真3（左）：阿部助教、写真4（右）：阿部助教によるシーズ紹介

2件のシーズ紹介を終えた後は、参加者全員で各研究室に移動し、研究室の様子、装置・実験の説明を受けました。阿部助教の研究室（学際フロンティア研究所）では、木片にレーザー加工した木製炭素電池のサンプルや評価装置の説明、研究環境についての紹介がありました。



写真5（左）：阿部助教 研究室見学、写真6（右）レーザー加工した木片

大田准教授の研究室（工学研究科）では、亜臨界溶媒抽出装置を間近で見学し、実験機に乗るサイズの装置で高機能の反応が実現されていることを実感顶きました。

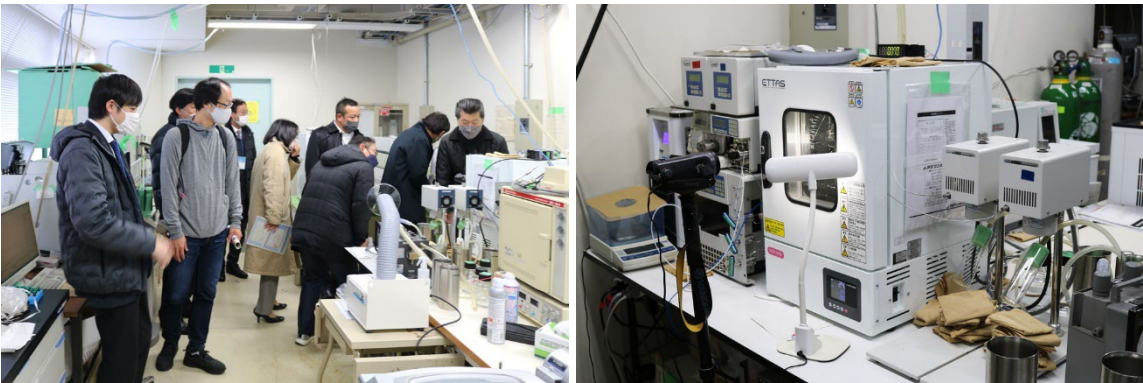


写真7（左）：大田准教授 研究室見学、写真8（右）：亜臨界溶媒抽出装置

青葉山キャンパスでのプログラムの後は、片平キャンパスに移動し、昼食休憩・歓談の時間を取りました。参加者同士、対面での情報交換の貴重なひとときとなりました。



写真9：昼食後の歓談の様子

歓談の後、材料科学高等研究所（AIMR）の西原教授の研究室にて研究シーズ「グラフェンメソ
スポンジ及び結晶性カーボン材料を用いた用途開拓」に関する説明、研究室見学を行いました。グラフェ
ンメソスポンジや結晶性カーボン材料の高い材料特性の説明、研究設備のご紹介等がありました。



写真10（左）：西原教授、写真11（右）：西原教授によるシーズ紹介



写真12（左）：西原教授 研究室見学、写真13（右）：グラフェンメソスポンジ模型

その後、片平キャンパス内にて、チームに分かれてそれぞれのシーズの事業化アイデアのグループワークを
行いました。多喜理事のファシリテーションにより「No と言わない」ルールでのディスカッションで、自由なアイ
ディアを出し合い、自社連携の可能性検討、チームによっては試作の協議を行い、今後の産学連携への
きっかけを探りました。



写真14（左）：グループワークの様子、写真15（右）：グループワーク発表会

会の最後の総評では、多喜理事よりグループ別発表で出たアイデアに対するコメントに加えて大学の研究者の技術を産業界でも十二分に活かしていくためのきっかけの場として、今後もこのような場を作っていく意向が示されました。その後の有志懇親会でも、和やかな交流が行われ、リアルツアー-in 東北大学は幕を閉じました。



写真 1 6 : 多喜理事の総評

※ 参考：リアルツアー-in 東北大学 概要

日程 2022年12月16日（金）10:00-16:00

場所 東北大学（青葉山キャンパス、片平キャンパス）

主催 一般社団法人 事業開発経営協会（BPA）

協力 日経 BP 総合研究所

東北大学 産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）

東北大学 産学連携機構

システム・インテグレーション株式会社

以上